

## ■ エコカラットの標準施工方法

### 1、クロス仕上げ壁の下地処理について

リフォームでクロス仕上げの壁面にエコカラットを貼る場合、クロスを剥がしてから貼付けをします。

下地（石膏ボードやベニア板など）の継ぎ目や段差が気になる場合はパテなどを使って補修します。

完全に接着したあとでエコカラットを剥がそうとすると、下地が破損する恐れがあるので出来ません。

工事の際には事前に色・柄・貼る場所を施工担当者までご確認ください。



### 2、天井や梁下などへの施工について

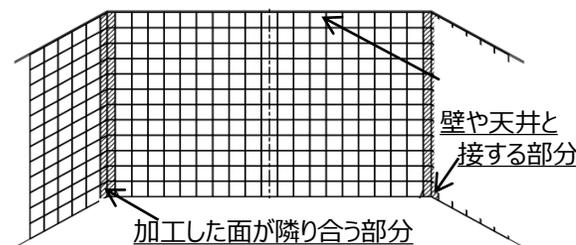
落下の可能性がある場所へのエコカラットの貼付けは承っておりません。

新築物件などで天井に貼る事を前提として下地を補強しエコカラットを貼っている事例もありますが、リフォームでの工事としては適用外となっております。



### 3、カラットコークによる補修について

エコカラットと天井や壁が接しているラインや加工・切断を行った個所については、数mm程度のスキマや段差が発生する場合がありますので、カラットコーク（エコカラット専用コーキング材）を使って処理をします。



※ スキマ等の発生は製品誤差や施工精度だけの問題ではなく、建物自体の水平・垂直や壁面の不陸によっても発生します



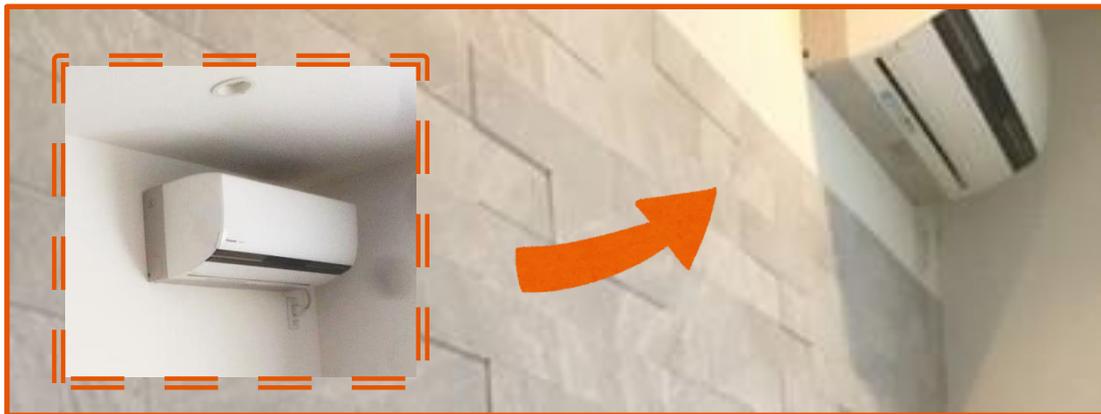
## ■ エコカラットの標準施工方法

### 4、壁面に設置済みの家電やリモコン周辺について

エアコンやコンセント・インターホンなどの周囲にエコカラットを貼り付けする際は、それらの設置状況を確認したうえで最適な貼り付け方をご提案致します。

#### ■ エアコン

エアコンは経年劣化により買い替えが必要となりますが、現在ご使用のエアコンにピッタリ隙間なく貼り付けすると、故障などでエアコンを買い替える時にサイズが合わず同じ場所に設置できなくなる可能性があるためスペースをあけて貼付けします。



1～2タイル分程度あけて貼れば  
違和感なくきれいに仕上がり、**買い替えの時も安心です！**

#### ■ コンセント、スイッチ

カバーを外してネジを緩めることで、エコカラットをカバーの裏側までしっかり貼り込むことができるのできれいに仕上がります。  
(※加工・切断した面はカバーの裏側になり見えません)



選定したエコカラットの厚みや凹凸によっては、オプション品の“コンセントスペーサー”を使用し  
て取付します

#### ■ インターホン、リモコン

マンションのインターホンや給湯器のリモコンの一部の機器については、ネジを緩めて取り外しすることができません。

機器の形状にあわせてエコカラットを加工して貼付けし、カラットコークできれいに仕上げます。

(複雑な形状をしていると  
対応できない場合があります)



#### (ご注意)

エコカラットを貼った上から家電等(※)を取付する事はできません  
先に壁面に取付したあとでエコカラットの施工を行います

(※ 壁掛けテレビ・エアコン・棚板 など)

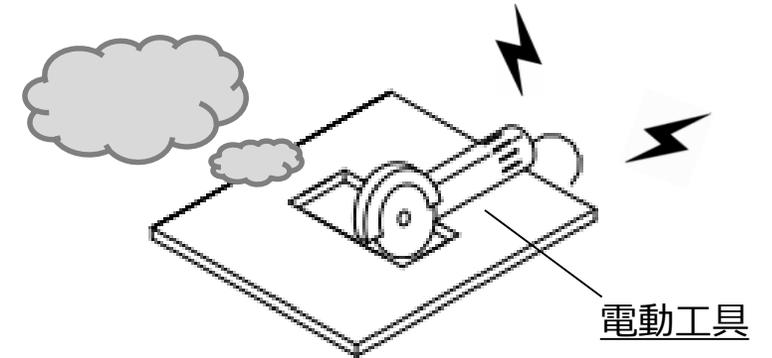
## ■ エコカラット工事をする時のお願い

### 1、加工作業における粉じんや騒音発生について

エコカラットを加工・切断する際に、電動工具（高速カッターなど）を使用する事があります。  
加工の際にはどうしても 粉塵が舞ってしまいますので、ある程度許容できる作業スペースのご用意をお願い致します。

※ マンションの室外（廊下・ベランダなど）での加工作業が禁止されている場合がございます。  
事前に管理組合等へご確認ください

※ マンションの屋外（駐車場など）や階下の共有スペースなどでの加工作業は、  
電動工具を使用する際の電源の確保が難しいためお断りしております。  
あらかじめご了承ください。



### 2、加工・切断作業時における製品の“割れ・欠け”について

エコカラットはその特性上、空気を吸放出する小さな孔（あな）を含有する商品となっております。  
その為、加工・切断の作業中に製品に“割れ・欠け”が発生してしまう恐れがあります。  
工事で手配する枚数は、貼付け面積当たりの必要枚数よりも少し多めに手配させて頂く事もありますのでご了承ください。